

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シード
 コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鎌田 清

TEL 03-3813-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,292	27.7	204	90.0	179	65.4	143	61.1
25年3月期第1四半期	3,362	18.7	107	121.9	108	234.0	89	97.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 90百万円 (18.6%) 25年3月期第1四半期 76百万円 (2.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	18.68	—
25年3月期第1四半期	11.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	20,866	6,580	31.5	854.42
25年3月期	20,349	6,644	32.7	862.71

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 6,580百万円 25年3月期 6,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,800	23.2	400	20.5	360	11.3	210	△65.0	27.26
通期	18,000	19.7	940	10.8	820	7.7	440	△54.6	57.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報の(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	9,112,000 株	25年3月期	9,112,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,409,763 株	25年3月期	1,409,763 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	7,702,237 株	25年3月期1Q	7,702,263 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融対策を背景とした円安株高が進行する等、景気の緩やかな回復傾向は見られますものの、今後の消費税増税の動向等もあり個人消費は依然不安定なまま推移しております。

コンタクトレンズや眼鏡業界におきましても、小売市場の販売競争激化に伴う販売価格の低価格化が定着した一方で、付加機能、付加価値を備えたコンタクトレンズや眼鏡は好調な推移を示す等、市況は細分化しつつ再成長の様相を示し始めております。

このような状況の中、当社グループといたしましては、平成26年3月期を『世界に通用する“日本のシード”』の礎を築くための3ヶ年中期経営計画の起点と位置付け、伸長する市場へ積極的に経営資源を投下し、「個別店舗戦略の徹底と新規顧客の獲得」、「生産能力の増強と新商品開発」、「商品施策（オンリーワン商品の拡大）の展開」、「新しい挑戦」の4方針を遂行することで、収益性のさらなる向上、事業基盤の強化に努めております。

この結果、使い捨てコンタクトレンズカテゴリーは前年同期比52.6%（当社卸売ベース）の伸長となりました。また、眼鏡は、主力フレームの新作モデル等が売上を牽引した結果、売上高は前年同期比3.5%増となり、不採算部門の整理等も奏功したことで、事業利益も黒字へ回復をいたしました。これらにより、グループ全体の売上高は4,292百万円（前年同期比27.7%増）、営業利益204百万円（前年同期比90.0%増）、経常利益179百万円（前年同期比65.4%増）と増収増益となりました。四半期純利益につきましては、当社が保有しておりました投資有価証券を非公開化を実施した企業の株式公開買付けに応じて売却し、78百万円の売却益を計上した結果、114百万円の法人税等を計上したものの、143百万円（前年同期比61.1%増）と増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（コンタクトレンズ・ケア用品）

コンタクトレンズ・ケア用品については、純国産1日使い捨てコンタクト「シードワンデーピュアうるおいプラス」、瞳を際立たせるサークルレンズ「シードアイコフレワンデーUV」と、新たに投入をいたしました「ヒロインメイクワンデーUV」を柱に、国産初の1日使い捨てタイプの遠近両用コンタクト「シードワンデーピュアマルチステージ」を含めた遠近両用シリーズ（1日使い捨て、2週間交換、ハード）全体でのPRを展開することで、売上の拡大に努めてまいりました。

これにより、ワンデーピュアシリーズが約27%（当社卸売ベース）伸長したことや、前期6月より取扱いを開始しております「シードアイコフレワンデーUV」が四半期を通して寄与したことにより、売上高は3,843百万円（前年同期比31.7%増）となりました。これにより、粗利益も増加したことで、営業利益は326百万円（前年同期比45.2%増）と増益基調を維持することができました。

（眼鏡）

眼鏡につきましては、主力フレームの「ビビッドムーン」、「プラスミックス」の春夏モデル新作フレームの投入に加え、昨年投入をいたしました新ブランドの「クロックスアイウェア」や「ヴィヴィフルール」がようやく市場で認知されはじめ、眼鏡フレームカテゴリーで前年同期比約20%（当社卸売ベース）の増加となり、全体の売上高は354百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

営業利益につきましては、販売価格競争が厳しい中、広告宣伝施策の見直しや前期に実施いたしました不採算店舗の整理・合理化策の効果等によって、10百万円（前年同期営業損失6百万円）と黒字転換を果たすことができました。

（その他）

その他につきましては、子会社の携帯電話部門の売上高が、前期後半の半導体供給不足によるメーカー側の出荷調整も一段落したことで、ようやく前年同期水準まで回復してまいりましたが、眼内レンズの減少等が影響したため、売上高全体は95百万円（前年同期比6.5%減）となりました。利益につきましては、不採算店舗の整理・合理化策によって、営業損失19百万円（前年同期営業損失21百万円）となり、改善の兆候が見られ始めました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、20,866百万円となり、前連結会計年度末から517百万円の増加となりました。主な要因として、現預金の増加486百万円（1,169百万円から1,655百万円）や、適正水準までの在庫引き上げに伴うたな卸資産の増加217百万円（2,661百万円から2,879百万円）が挙げられます。

負債につきましては、14,286百万円となり、581百万円の増加となりました。主な要因として、運転資金や鴻巣研究所の増設準備に伴う長短借入金が増加702百万円（6,222百万円から6,924百万円）によるものであります。

純資産につきましては、6,580百万円となり、63百万円の減少となりました。主な要因として、その他有価証券評価差額金の減少48百万円が挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,655百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、553百万円（前年同期274百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上や減価償却費の内部留保効果によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、462百万円（前年同期645百万円の支出）となりました。これは主に、製造ライン増設に伴う機械装置等の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、401百万円（前年同期49百万円の収入）となりました。これは、運転資金や鴻巣研究所の増設準備に伴う長短借入金の借入れによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、第1四半期迄の当期純利益の進捗や、使い捨てコンタクトレンズを中心とした販売・製造の足下の状況や為替相場の見通し等を慎重に勘案しまして、平成25年5月15日付にて公表いたしました第2四半期累計期間及び通期業績予想を、平成25年8月12日付で次のとおり修正をしております。

（第2四半期累計期間）

売上高 8,800百万円、営業利益400百万円、経常利益360百万円、四半期純利益210百万円

（通期）

売上高18,000百万円、営業利益940百万円、経常利益820百万円、当期純利益440百万円

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,169,329	1,655,858
受取手形及び売掛金	2,667,783	2,619,639
商品及び製品	2,170,651	2,333,275
仕掛品	184,696	208,818
原材料及び貯蔵品	306,559	337,553
未収入金	232,113	276,589
その他	1,079,775	1,007,603
貸倒引当金	△93,810	△95,213
流動資産合計	7,717,098	8,344,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,758,017	2,815,041
機械装置及び運搬具(純額)	1,415,731	1,546,261
土地	3,548,710	3,548,710
リース資産(純額)	3,020,363	3,172,361
建設仮勘定	223,026	36,481
その他(純額)	233,248	271,972
有形固定資産合計	11,199,097	11,390,829
無形固定資産	85,989	81,368
投資その他の資産	1,346,919	1,050,657
固定資産合計	12,632,006	12,522,854
資産合計	20,349,105	20,866,980
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	924,359	936,619
短期借入金	2,637,570	3,076,505
リース債務	605,628	647,543
未払法人税等	114,116	23,064
賞与引当金	223,880	139,090
製品保証引当金	42,100	45,300
その他	2,035,545	1,896,952
流動負債合計	6,583,199	6,765,075
固定負債		
長期借入金	3,584,832	3,848,467
リース債務	2,495,018	2,599,980
退職給付引当金	980,039	999,595
役員退職慰労引当金	58,199	68,930
その他	3,000	3,990
固定負債合計	7,121,088	7,520,963
負債合計	13,704,287	14,286,039

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	2,474,160	2,474,160
利益剰余金	2,676,920	2,666,789
自己株式	△445,553	△445,553
株主資本合計	6,546,806	6,536,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,088	44,036
為替換算調整勘定	5,922	228
その他の包括利益累計額合計	98,010	44,265
純資産合計	6,644,817	6,580,941
負債純資産合計	20,349,105	20,866,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,362,070	4,292,674
売上原価	1,830,350	2,355,901
売上総利益	1,531,720	1,936,772
販売費及び一般管理費	1,423,949	1,732,041
営業利益	107,771	204,731
営業外収益		
受取利息	500	274
受取配当金	4,733	3,287
為替差益	924	—
還付消費税等	73	3,815
その他	34,365	4,504
営業外収益合計	40,597	11,882
営業外費用		
支払利息	13,845	31,886
為替差損	—	1,445
その他	25,795	3,495
営業外費用合計	39,640	36,826
経常利益	108,727	179,787
特別利益		
投資有価証券売却益	—	78,520
特別利益合計	—	78,520
特別損失		
固定資産除却損	10,368	—
特別損失合計	10,368	—
税金等調整前四半期純利益	98,358	258,307
法人税、住民税及び事業税	41,987	29,213
法人税等調整額	△32,970	85,180
法人税等合計	9,017	114,393
少数株主損益調整前四半期純利益	89,341	143,913
四半期純利益	89,341	143,913

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89,341	143,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,534	△48,052
為替換算調整勘定	3,230	△5,693
その他の包括利益合計	△13,303	△53,745
四半期包括利益	76,037	90,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,037	90,168

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	98,358	258,307
減価償却費	247,476	364,029
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△706	△280
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,877	19,556
賞与引当金の増減額(△は減少)	△72,850	△84,790
製品保証引当金の増減額(△は減少)	41,400	3,200
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,547	10,731
受取利息及び受取配当金	△5,234	△3,562
支払利息	18,474	31,886
固定資産除却損	10,368	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△78,520
売上債権の増減額(△は増加)	37,045	47,671
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,502	△217,739
仕入債務の増減額(△は減少)	9,972	12,260
未払金の増減額(△は減少)	148,475	213,460
その他	△208,334	114,649
小計	365,373	690,861
利息及び配当金の受取額	5,234	3,562
利息の支払額	△21,534	△32,208
法人税等の支払額	△74,951	△108,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	274,122	553,561
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△640,596	△720,373
投資有価証券の取得による支出	△210	△210
投資有価証券の売却による収入	—	108,763
貸付金の回収による収入	8,962	7,462
敷金及び保証金の回収による収入	220	142,794
その他	△13,532	△1,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△645,155	△462,906
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	290,000
長期借入れによる収入	1,400,000	700,000
長期借入金の返済による支出	△328,462	△287,429
社債の償還による支出	△900,000	—
配当金の支払額	△66,429	△138,418
リース債務の返済による支出	△45,587	△162,689
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,520	401,463
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,164	△5,589
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△318,347	486,529
現金及び現金同等物の期首残高	947,372	1,169,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	629,024	1,655,858

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,918,058	342,384	3,260,443	101,627	3,362,070
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,918,058	342,384	3,260,443	101,627	3,362,070
セグメント利益又は損失(△)	224,616	△6,694	217,921	△21,629	196,292

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	217,921
「その他」の区分の利益	△21,629
セグメント間取引消去	—
のれんの償却額	—
全社費用(注)	△88,520
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	107,771

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,843,338	354,288	4,197,626	95,048	4,292,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,843,338	354,288	4,197,626	95,048	4,292,674
セグメント利益又は損失(△)	326,203	10,668	336,872	△19,787	317,085

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	336,872
「その他」の区分の利益	△19,787
セグメント間取引消去	—
のれんの償却額	—
全社費用(注)	△112,353
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	204,731

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成25年8月12日開催の取締役会において、鴻巣研究所の生産能力増強と多品種生産対応のため、下記のとおり設備の追加設置(設備投資)を行うことを決議いたしました。

(1) 設備投資の目的

当社鴻巣研究所の生産能力増強と多品生産対応のため、鴻巣研究所の敷地内に新たに新棟を建設するものであります。

(2) 設備投資の内容

所在地 埼玉県鴻巣市袋1030番7

用途 コンタクトレンズの製造、研究開発設備

投資金額 23億2千万円

(3) 建設期間

着工予定 平成25年10月

竣工予定 平成26年7月

(4) 生産能力等

新棟の竣工により、1日使い捨て、または2週間交換タイプのコンタクトレンズの製造が可能(現時点では1日使い捨てコンタクトレンズ換算で月産1,000万枚規模の生産能力向上を計画中)となります。